

今や節分の定番である「巻き寿司の丸かぶり」実は此花区  
伝法（当時の申村「さるむら」）が発祥と言われています！

このはな  
発祥！



巻きずしの丸かぶり



非公認 西原此花区長の付き人「ぶり☆でび」

昔の節分の日、  
申村（今の伝法）では、  
「世念講（よねんこ）」といわれる講があり、そこでは村の若者や船頭衆  
や川人夫が集まって、夜通し雑談や将棋・囲碁・花札、墓場への肝  
試しなどを楽しんでいました。  
このとき「巻き寿司」を食べることが当時の習慣でしたが、人数が多い  
ので、巻き寿司を切り分けては間に合わず「腹がすいた。切らずに  
そのままおくれ」の声が高まり、丸かぶりするようになったのが発祥と言  
われています。（郷土史文献「伝法のかたりべ」参照）

発行：此花区郷土史研究会 此花飲食業協同組合 此花区役所  
協力：伝法連合振興町会、伝法地域活動協議会

